

## 令和2年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立内幸町ホール	所在地	千代田区内幸町1-5-1
-----	-------------	-----	--------------

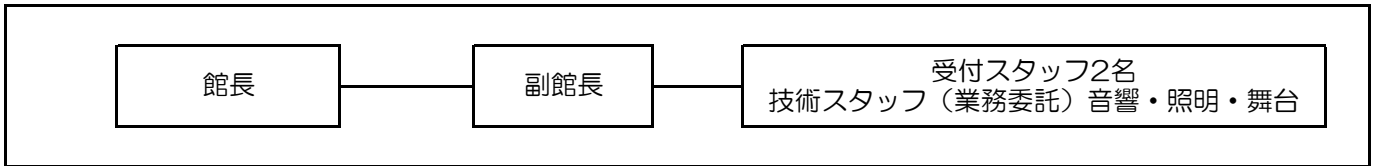
### 1 指定管理者の概要

名称	株式会社コンベンションリンケージ	代表者	平位 博昭
所在地	東京都千代田区三番町2 三番町KSビル		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	報告期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

### 2 管理施設の概要

施設の目的	千代田区の文化芸術の振興を図り、区民（区に住み、働き、学び、集うすべての人々をいう。以下同じ。）が演劇・音楽等の文化芸術活動を実践することができる場の提供、文化芸術活動を行う団体等の育成及び区民が文化芸術を享受することができる機会の提供を図ること、その他区民の利用に供することを目的とする。
管理業務の内容	(1) ホール施設及び付帯設備（以下「ホール等」という。）の利用承認等に関すること (2) 演劇・音楽等の公演その他の催し物に関すること (3) 区民の自主的な文化芸術活動意識の醸成に関すること (4) 文化芸術活動を行う区内の団体等の支援及び育成に関すること (5) ホール等の保守点検および施設設備の維持管理に関すること (6) その他ホールの目的を達成するために必要な事業

### 3 管理体制の状況



### 4 事業実績等

#### ア ホール利用実績

	年間日数	休館日数・メンテナンス日数	日単位の利用実績			利用区分別の利用実績		
			利用可能日数	実利用日数	利用率	利用可能区分数	実利用区分数	利用率
令和2年度	365	109	256	127	49.61%	761	276	36.27%
令和元年度	366	18	348	318	91.38%	1,012	831	82.11%
平成30年度	365	30	335	328	97.91%	979	854	87.23%

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や夜間の利用休止、客席数の制限を実施した。

#### イ 利用目的別件数

	演劇	音楽	舞踊	落語	朗読	その他	合計
令和2年度	0	68	0	38	6	20	132
令和元年度	22	154	35	112	41	53	417
平成30年度	26	197	15	102	32	47	419

#### ウ ホール主催事業

4演目実施（落語1回、オペラ1回、音楽1回、その他1回）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4演目中止（朗読・解説1回、音楽2回、その他1回）

#### エ ホール共催事業

内幸町ホール文化祭（7日間：9団体）

#### オ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理（害虫駆除を含む）
- ・施設清掃業務
- ・警備業務
- ・ピアノ、音響、照明、舞台保守点検
- ・防火防災管理点検
- ・防火対象物点検
- ・消防設備点検
- ・防火設備点検
- ・避難訓練
- ・水防訓練

## 5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	29,742,000円	人件費	18,105,582円
利用料金	14,116,300円	光熱水費	11,673,788円
主催事業	565,884円	事業費	1,957,241円
雇用調整助成金	1,084,700円	施設運営維持管理費	34,208,943円
損失費用補填額 (R2.2月~R3.3月)	21,448,891円	合計 (②)	65,945,554円
その他	1,513,538円		
合計 (①)	68,471,313円		
収支差額 (①-②)	2,525,759円		

【参考】令和元年度指定管理料 26,320,000円

## 6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や夜間の利用休止、客席数の制限を実施したことにより、キャンセルが多数あるなか、利用予定の方々への連絡や返金手続きの案内、利用にあたっては感染症対策ガイドラインの説明等を丁寧に行い、お客様にご理解をいただいた。</p> <p>また、感染症対策として、アルコール消毒液の設置や施設内の消毒、感染症対策啓発ポスターの掲示などを行い、安心してご利用いただけるように努めた。</p> <p>緊急事態宣言発出やまん延防止等重点措置適用に伴う対応についても、所管課と緊密に連携をとりながら丁寧に対応した結果、利用者からの苦情もなくつつがなく対応できた。</p> <p>こうした対応の結果、利用者アンケートでは、スタッフの対応について9割の方に「とてもよい」の評価をいただき、コロナ禍においても、万全な感染症対策を講じつつ、高いクオリティのサービスを提供することができたと評価する。</p>	<p>収入面では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や夜間の利用休止、客席数の制限を実施した結果、利用料金収入（会場利用料収入・付帯設備利用料収入）が前年度と比べて約3割減少した。こうした減収に対しては、区から損失補填を受けて、ホールの管理運営を継続することができた。</p> <p>支出面では、臨時休館や利用制限を実施した結果、光熱水費・事業費・施設運営維持管理費が前年度と比べて約3割減少した。</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染症の影響により、収支面で厳しい状況が続くことが予想されるため、より一層効率的な運営を行い、コスト削減に努める。</p>

## 7 区としての評価・今後の方向性

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や夜間の利用休止、客席数の制限を実施したことにより、利用実績が例年より大幅に減少した。こうした状況の中、キャンセル対応や感染症対策等に非常に尽力していただいている。また、ホールの主催事業については一部中止を余儀なくされたが、実施できた事業は、デジタル浮世絵の解説講座やインド大使館と連携した国際交流事業など、独自性の高い魅力的な事業であり、コロナ禍においても区民に文化芸術に親しむ機会を提供している。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数の減少が懸念されるため、区としてはホールの運営に支障をきたさないよう指定管理者への支援を行う。指定管理者には、引き続き適切な感染症対策を講じながら、これまでのノウハウを活かした質の高い利用者サービスの提供を期待する。